

平成29年度第7回安城市地域ケア推進会議

日時 平成29年10月19日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

9、10月にはいろいろな催し物があり、どれも盛況でした。認知症を知る講演会では、この地域ケア推進会議で発案のあった劇団がわずかな準備期間でも公演することができた。これもみなさまのご尽力のおかげと思う。劇団をはじめ色々な活動が始まっているので引き続きよろしくお祈いします。

(事務局) 認知症を知る講演会でサルビー見守り劇団が初公演をした。議題1に入る前に議題3の認知症を知る講演会についての報告をする。

1) アンケート結果の報告(資料3)

- ・アンケート回収率68.6%(去年は46.9%)
- ・劇、講演で認知症への理解ができた、相談支援機関や支援内容、認知症カフェについて知ることができたという回答が多くみられた。

2) 地域ケア推進会議の意見を参考に、アンケート回収率を上げる為に以下の工夫をした。

- ①記入台をロビーに分かりやすく置いた。
- ②終了後市からのお知らせをする時間にアンケート記入のお願いをアナウンスした。
- ③受付で鉛筆を配った。
- ④出口でアンケートの記入を再度お願いした。

2 議題

(1) 在宅医療を広く知ってもらう方法について

1) サルビー見守り劇団

(ヘルパーネット・高橋団長)

皆様のおかげで無事に公演を終えることが出来ました。ありがとうございました。来場者が多くとても緊張したが、練習を重ねた成果で本番に最高の演技ができた。この劇団を継続してPRしいろいろな場所でいろいろな方に観てもらい認知症や在宅医療のことを分かってもらえたらと思います。

→公演のDVD視聴

【DVDの感想、今後の内容、DVDの活用方法などについて意見】

(副会長) DVDは市役所の大きなテレビやアンフォーレのモニター、八千代病院の喫茶コーナーのテレビで流したらどうか。

(八千代病院) 個人的にはよいと思う。前向きに検討します。

(歯科医師会) 毎年11月に8020の歯の表彰式がある。対象者が150名ほど、来場者は100名ほどある。今年はアンフォーレで開催し、20分くらいの余興を頼んでいる。来年の表彰式のイベントとして劇団に来ていただきたいと思う。

費用はいくら位か。

(会長) ほぼボランティア的な活動です。

(病院部会) 住民に認知症や在宅医療について周知するにはインパクトがあるので協力したい。内容は在宅医療の終末期の過ごし方について劇でやっても良いと思う。

(小規模多機能部会) 事業所の全てのスタッフに見てもらいたい。また、事業所が開催するカフェで流したいのでDVDを貸し出してほしい。スタッフの中に劇団に興味を持った者がいる。入団資格はあるのか

(高橋団長) 入団資格は気持ち。看取り編、往診編、リハビリ編、小規模多機能編等、いろいろ作っていききたい。それに関係する専門職に声をかけて劇団を大きくしていきたい。入団は随時受け付ける。興味を持った人に声をかけて欲しい。

(事務局) DVD貸し出しは市役所で行う。

(住まい部会) 自分の身近なところで、認知症の人を受診させるのに困った経験がある。「どうしたら医者につれて行けるか」といったノウハウが劇をみた人にわかるような内容をお願いしたい。

(保健福祉部会) 認知症サポーター養成講座や搜索模擬訓練でDVD活用したり、劇団に来ていただくと理解が深まると思う。

(事務局) 市の事業でDVDを活用できる場があればできるだけ活用したい。

(会長) 他にも何かあれば団長までお願いします。

2) 福祉まつりでのPRについて、訪問看護ネットワークから報告。

- ・来場者が昨年より2.7倍増えて175人に訪問看護のコーナーに寄っていただけた。場所がスギ薬局の隣ということが良かったと思うので、来年も同じ場所でやりたい。
- ・午後より午前の来場者が多かった。午前に人の配置を多くした方が良いと思う。
- ・「訪問看護の1日」を展示したが、字が小さくて見にくかった。次回は見やすい大きさの字で掲示する。
- ・相談内容は、血圧に関することが多かった。訪問看護についての相談・質問は無かった。
- ・血圧測定の結果を記録する用紙が小さくて見にくかったので来年は大きくする。
- ・握力測定が人気だった。もう少し握力計があると良い(今年は1事業所2個借りた)。握力の基準値表を立てかけたただけだったので、見やすい展示の仕方を工夫したい。
- ・酸素濃縮機、携帯用酸素ボンベを展示した。「家でこんなこともできるの?」と

興味を持った人がいた。展示をすればそれなりに興味を持って見てくれると思った。

- ・スタンプラリーが好評だった。クイズの問題に酸素療法や点滴などの在宅でできる医療をあげたところ、「そんなことが家でやれるの？」という反応があり、在宅医療について少しは周知できたと思う。
- ・周知するにはガイドブックのように視覚に訴えるものがあると良い。
- ・福祉まつりでも寸劇をやるとか、DVDを流すと地域医療を知ってもらうのに効果的だと思う。

【質問・意見】なし

3) 在宅医療ガイドブック（仮称）について（資料1-1、1-2）

（事務局）

- ・（資料1-1）構成（案）について説明。（資料1-2）の様式で12月までに意見をあつめ、それを元に原稿案を提示する。来年度前半のガイドブック完成をめざす。
- ・今回作成するガイドブックの作成目的は在宅医療を広く知ってもらうこと。一般市民向けの講座や、療養者にサービスを導入する時の説明資料として使用することを想定している。
- ・在宅医療の対象者は高齢者に限らないので、障害者福祉サービス等他の公的サービスの相談窓口も掲載したい。
- ・介護保険制度や認知症など、他に冊子があるものについてはその冊子を活用し、ガイドブックの内容を在宅医療に特化したものにした。
- ・各在宅医療サービスの説明ページには、そのサービスの役割（キャッチコピー）と、どのような時（想定される困りごと）に何ができるか、相談窓口はどこかをわかりやすく掲載したい。

【質問・意見】

（地域支援部会）完成品の大きさはA4サイズでよいか。

（事務局）A4サイズで作成する。

（2）保健福祉部会検討内容の報告（資料2）

（保健福祉部会）住民主体（地域活動）による移動支援について報告。

生活支援コーディネーターとして、平成30年度に「運転ボランティア養成講座」を実施し、ボランティアの育成をすることによりサロン活動の活性化につなげていきたい。

【質問・意見】

（地域支援部会）：3月から始めた体操教室をプラスしたサロンに、車椅子の方を高齢の奥様が押して来て参加いる。車を使つての送迎はサロンを運営する側にとつ

て負担が大きく、車椅子で移動できる人くらいが受け入れの限度かと思う。運営側に負担がかかるのはどうしたものかと思う。

(デイネット部会) この移動支援は総合事業のサービスDに相当するものかと思う。サービスBとDもまだまだということで、検討が必要だが、総合事業という形でやっていると、新規で参入するところへの障壁になるのではと思う部分がある。 구글が提供している、ICTを使って車を提供する人と利用したい人をマッチングするシステムを利用している自治体もある。福祉・介護という分野では全国的にもうまくいっている事例は少ない。実現可能な方法を模索する必要性を感じる。デイネットの研修会でトヨペットがやっている事業を紹介された。事業所がやるのかトヨペットのようなハード(車)を持っているメーカーも巻き込んでいくのかも考えていく必要があると思う。

(3) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料3)

(医師会部会) 「第2回安城市エンドオブライフ・ケア研修会」

- ・応募者多数で第1回に参加できなかった人を対象に開催した。
- ・自分自身が患者や家族になりきるロールプレイはなかなか経験することがなく、一段と深くものを考えることができる研修だった。
- ・今後もこのような会をもつことで介護について深く考え、よりスキルアップできるとよいと思う。

【意見・質問】なし

(デイネット部会) 「地域と事業所(施設)との関係づくりについて」

- ・昨年に引き続きテーマを変えずに開催した。1回目は事業所からの参加が多く、今回は地域の人や生活支援コーディネーター、ケアマネの参加もあった。
- ・内容としては、地域でサロン活動をしている人の生の声の意見もあり、中身の濃いものができたと思う。
- ・反省点として、地域の人に向けて、なぜ事業所が地域連携していかなければいけないかをきちんと説明しきらないまま研修をはじめたことと、専門用語が難しいという意見があった。
- ・利用者の自立支援に向けて各事業所ができることを考えていくと、地域連携になる。引き続き「地域と事業所との関係づくりについて」をテーマに部会から発信していきたい。

【質問・意見】なし

(4) 見守り協定の報告(資料4)

(事務局) 昨年11月開始。普段高齢者の方と関わりのある民間事業者に通常業務の中で異変を感じたら市に報告してもらおうもの。協定事業所一覧を順次更新し、市のホー

ムページに掲載している。

【質問・意見】なし。

連絡事項

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

テーマ：口腔ケア研修会（歯科医師会部会）

日時：平成29年10月19日（木）午後3時30分から

場所：総合福祉センター 1階 会議室3

講師：板倉 直美 氏、中根 尚美 氏（公益財団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部）

テーマ：住民による移動支援（保健福祉部会）

日時：平成29年11月14日（火）午後2時から

場所：社会福祉会館 2階 講座室

講師：遠山 哲夫 氏(NPO法人移動ネットあいち 理事長)



次回 平成29年11月16日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室